

## 新たな技能実習制度に基づく溶接技能評価試験の申込みについて

### ■ 申込書類

- 【全種別共通】 ①外国人溶接技能評価試験 申込書  
②パスポートの写し（①の裏面に糊付けしてください）  
③在留カードの写し（①の裏面に糊付けしてください）  
※過去に3年間の技能実習を終え、すでに帰国している方については「技能実習修了証書」の写しを代わりに添付してください。  
④受験料金（HPに掲載）  
⑤（再試験のみ）初回受験時の結果証明書の写し

初級試験： 上記「全種別共通」のもの。

専門級試験： 上記「全種別共通」のものに加え、初級試験の合格証明書（結果証明書）の写し  
※外国人(建設/造船)就労者（＝特定活動）の受験の場合も同様。

上級試験： 上記「全種別共通」のものに加え、専門級試験の結果証明書の写し

### ■ 申込書記入上の注意事項

1. \*印欄以外の全ての欄に、ボールペンではっきり記入してください。
2. 写真は最近6ヶ月以内に撮影した「縦4.5cm×横3.5cm（パスポート用サイズ）」のもので、裏面に名前を記入した上で貼付してください。目がはっきりしないメガネおよび色付きメガネの着用は不可です。
3. 試験種別など該当するものを選択する欄は、該当する番号を○で囲んでください。
4. 試験区分は次のとおりです。
  - (1) 新規（学科有）  
※①初級試験を初めて受験される方、②専門級および上級試験を初めて受験される方で、実技試験とともに学科試験の受験を希望される方
  - (2) 新規（学科無）  
※専門級および上級試験を初めて受験される方で、学科試験の受験を希望されない方
  - (3) 再受験（学科）  
※（1）を受験された方で、学科試験のみが不合格だった方
  - (4) 再受験（実技）  
※①（1）を受験された方で、実技試験のみが不合格だった方、②（2）を受験された方で、実技試験が不合格だった方
  - (5) 再受験（学科・実技）  
※（1）を受験された方で、学科および実技試験が不合格だった方
5. 受験者氏名欄は、パスポートの表記どおりに記入してください。また、受験者サイン欄は、必ず本人がサインをしてください。

6. 受験種目の記号は次のとおりです。

A	被覆アーク溶接(裏当金あり)	—	2	中板(中肉管)	—	F	下向姿勢
N	被覆アーク溶接(裏当金なし)		3	厚板		V	立向姿勢
SA	マグ溶接(裏当金あり)		H	横向姿勢			
SN	マグ溶接(裏当金なし)		O	上向姿勢			
SS	セルフシールドアーク溶接(裏当金あり)		P	パイプ(管)			

7. 【手溶接】

溶接棒欄は、使用する溶接棒の銘柄（メーカーの呼称）、JIS 規格の種類（E4316 等）および棒径を、1 層目と 2 層目以降に分けて記入してください。

なお、専門級試験の 2 種目で使用溶接棒が異なる場合は、そのことが分かるように記入してください。（例：A-2F…○○、A-2V…△△）

【半自動溶接】

溶接材料欄は、使用する溶接材料の銘柄（メーカーの呼称）、JIS 規格の種類（ソリッドワイヤ：YGW11 等、フラックス入りワイヤ：T49J0T1-1CA-U 等）およびワイヤ径を記入してください。

なお、専門級試験の 2 種目で使用溶接材料が異なる場合は、そのことが分かるように記入してください。（例：SA-2F…○○、SA-2V…△△）

8. 業種区分は、受験者が主として従事する業種を次表の中から 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。該当するものがない場合は 15 を○で囲み、（ ）内に業種を簡潔に記入してください。

コード	業種の区分
01	船舶及び船舶関連構造物、海洋構造物等の製造、修理等の業種
02	ボイラ、圧力容器、タンク、配管（配管工事含）等の製造、修理等の業種
03	化学、石油精製プラント、その他プラント・装置等の製造、修理の業種
04	電力、ガス、その他重機器・構造物等の製造、修理等の業種
05	土木・建設機械、輸送機器（車輛、自動車等）等の製造、修理等の業種
06	橋梁、土木、鉄道橋、鉄塔等の製造、修理の業種
07	建築鉄骨及び関連機器、設備等の製造、修理の業種
08	建設業（ゼネコン等）、設計事務所、その他建設関連の業種
09	鉄鋼、非鉄金属等の製造の業種
10	同上の流通、加工（切断、部品加工等）等の業種
11	溶接材料、溶接機器及び関連機器の製造等の業種
12	エンジニアリング、コンサルタント等の業種
13	試験、検査（非破壊検査を含む）、計測等の業種
14	教育・訓練機関、研究機関、団体等
15	その他（簡潔に記載してください）

9. 実習年数等欄は、各項目をご記入の上、実習実施者の責任者等の証明をもらってください。

※ 外国人(建設/造船)就労者としての受験の場合は、特定活動年数を記入の上、在籍企業/団体の責任者等の証明をもらってください。

# 外国人溶接技能評価試験 申込書

## 手溶接

一般社団法人 日本溶接協会  
溶接技能者認証委員会 殿

下記のとおり、溶接技能評価試験の受験を申し込みます。

(注1) パスポートの写し及び在留カードの写しを必ず裏面に糊付けして下さい。

(注2) 受験者サイン欄は、必ず本人がサインをして下さい。

下段の誓約事項及び別紙の「申込書記入上の注意事項」をよく読んでから記入して下さい。

受付番号*	
受験番号*	
試験コード*	
証明書番号*	
連絡票番号*	

(写真全面貼付)

最近6ヶ月以内に脱帽で上半身を撮影したものを。

**写真のサイズ**  
(縦4.5cm×横3.5cm)  
パスポート用

上記サイズを厳守すること。  
なお写真は、必ずこの枠内に合わせて貼ること。

試験種別	1. 初級 (1年目)				2. 専門級 (3年目)				3. 上級 (5年目)								
試験区分	1. 新規 (学科有)		2. 新規 (学科無)		3. 再受験 (学科)		4. 再受験 (実技)		5. 再受験 (学科・実技)								
受験者	フリガナ															サイン	
	氏名 (英文)																
	性別	1. 男性		2. 女性		生年月日 (西暦)		年 月 日		国籍							
自宅	フリガナ															電話	
	現住所																
実習実施者	フリガナ															実習実施者コード*	
	名称															担当者・部署	
	所在地															電話	
監理団体	フリガナ															FAX	
	名称															監理団体コード*	
	フリガナ															担当者・部署	
	所在地															電話	
(注) 受験票、結果証明書等は監理団体宛にお送りします。																	

受験種目	初級				専門級				上級											
	1	A-2F	必須	21	A-2F	26	N-2F													
2	N-2F	選択					31	A-3F	36	N-3F				51	A-3F	56	N-3F			
			22	A-2V	27	N-2V							42	A-2V	47	N-2V	52	A-3V	57	N-3V
			23	A-2H	28	N-2H							43	A-2H	48	N-2H	53	A-3H	58	N-3H
			24	A-2O	29	N-2O							44	A-2O	49	N-2O	54	A-3O	59	N-3O
			25	A-2P	30	N-2P							45	A-2P	50	N-2P				

(注1) 受験する種目の番号を○で囲んで下さい。 (注2) 専門級試験では、必須種目から1種目、選択種目から1種目の合計2種目の受験が必要となります。  
(注3) 上級試験では、専門級試験で合格した種目以外の1種目の受験が必要となります。

溶接棒	銘柄				規格の種類				棒径 (mm)		コード	
	① 1層目											*
② 2層目以降											*	
(注) 2層目以降で棒の種類の変更はできません。なお、専門級試験の2種目で使用溶接棒が異なる場合は、そのことが分かるように記入して下さい。												

業種区分 (別紙参照)	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15 ( )
実習年数等	入国年月日	年 月 日			溶接技能評価試験に関する誓約事項										
	在留期間	年 月 日迄			溶接技能評価試験に関しては、下記に従うものとする。										
	実習年数	年 月 日			1. 受験者本人が本誓約事項を理解した上で、本申込書の受験者欄に必ず受験者本人がサインする。										
	受験希望時期	年 月 頃			2. 受験の際には、不正行為は行わず、加担もしない。										
	上記のとおり証明します。	年 月 日			3. 結果証明書交付後、下記不正行為等が判明した場合は、合格は取り消され、既に交付した結果証明書を返却する。										
(証明者)															
所属:															
氏名:															

